

坂井市

# 塚谷建設の前田義明さん

## ものづくり名人 土工の建設マスターに輝く

### 無から有をつくる魅力

### 残る仕事人生、後進の育成に全力で



土木がシビルエンジニアリングと呼ばれる由縁に感慨深く、後進にも誇りを持ち継承していきたいと話す。58歳

塚谷建設（坂井市坂井町長畑）の前田義明工務部長が、今年度の土工部門における建設マスターに輝いた。

歴史ある優秀施工者国交通大臣顕彰で、現場第一線の従事者から、とくに卓越した建設の技術や技能を有する者として

て、前田氏も「ものづくりの名人」にふさわしいと称えられた。氏は丸40年この道一筋に歩み、振り返っては「厳しかった諸先輩の教えも今となっては本当に有り難い」と心から感謝する。飛島道路（現ガイアート）に新卒

で入社して以来、全国の現場をめぐり「土木の基礎基本から高度で最新の技術も目の当たりに、無から有をつくり出す魅力や醍醐味を感じる」ことができた」と率直に。また「どんな困難にも挑戦し続ける飛島スピリッツは今も私の中に息づく」と感謝の言葉を重ねる。

地元福井に戻り塚谷建設で約10年。活躍の場を変えても、仕事に対する姿勢は一貫して「私の持てる技術技能は恩返しのもりで全力で発揮し、今後は特に若い技術者の育成に努めたい」と意欲を示し、教育的な立場から人生をかける決意だ。若手には「好奇心を旺盛にもって臨んでほしい。土木の世界はこれで終わりということでは決してない。その思いを満たすに十分な世界だ。技術は日進月歩で、現場をもっと改良、改善ができないか。つねに思慮深くチャレンジを」などと願う。継続は力なりを座右の銘とし、この顕彰の趣旨に沿い、後進の指導・育成にも一層貢献していく頼もしい建設マスターが誕生した。